

九州メディア総合展2026

放送機器展の枠を超えた祭典へ

15、16日に福岡国際センターで開催



今年から名称を改め、旧来の放送機器展の枠を超え、幅広いメディア関連製品・技術がそろふ（写真は今年の会場の様子）

地域密着型のイベントを展開

日本放送プロダクション協会（JPPA）主催によるプロフェッショナルのための展示会「九州メディア総合展2026」（QBE/旧・九州放送機器展）が、7月15、16日に福岡国際センター（福岡市博多区）で開催される。今年から名称を改め、旧来の放送機器展の枠を超え、映像、音響、照明、ICT、ウェブといったメディア関連製品・技術を幅広く扱う。最新の放送・制作・配信機器やソリューションが多数集結し、実機展示やデモンストレーションを通じて、業界の最新動向を効率的に把握できる機会とする。

「入場無料・事前登録制」／詳細「www.q-kick.ten.com/」

「入場無料・事前登録制／詳細はwww.q-kikiten.com/」

九州メデア総合展は、特徴や運用イメージを具体的に確認できる。

ソリューションを披露する。最新機器の実機展示や実演を通じて、製品の特徴や運用イメージを具体的に確認できる。

また、放送・映像機器、ロケラムとなっている。

また、放送・映像機器、ロケラムとなっている。

から関連企業、放送局、単なる機器展示だけでなく、制作会社が集まる地域密着型のメディアイベントとして展開する。大手メーカーや地元企業の両方なく、現場の課題解決に直結するセミナーも多数開催。セッション内容は「生成AIを活用したコンテンツ制作戦略」、「最新ソフトウェアの機能紹介が参加し、ビジネス交流やネットワーキングの場

像制作システムの展示をはじめ、実際の活用シーンが分かるデモや現場目の線のトークセッションなど、「見て・聞いて・学べる」といった内容が充実している。

としても機能している。介、「ワイヤレス機器のさらに、学校や教育機関 運用ノウハウ」など多岐の
 出展、学生参加の機会 にわたる。

さらに今回から、企業と学生をつなぐマッチング企画も新たにスタート。

もみられ、次世代クリエイター育成の場としてのセミナーでは、映像、音響、照明、ICT、クラ

学生には業界の幅広い仕事を
知る機会を、企業には未来を担う人材と出会う機会を

展示ブースエリアでは、120社以上が出展し、の技術や製品、ソリューションを、実際のデモや

う機会を提供する新たなプラットフォームを展開する。

各社が最新の製品・技術を披露

出展者リスト

【映像・メディア関連機

出展者リスト

【映像・メディア関連機器】

▽アイベックステクノロ
ジィ▽アイ・ディ・ケイ
▽ACTアクト▽アツデ
ン▽アブコット▽アルバ
ニクス▽アークベンチャ
ーズ▽池上通信機▽伊藤
忠ケールシステム▽イ
メージニクス▽イメー
ジネット▽ATENジャパ
ン▽エヌ・イー・ピー▽
エレクトリ▽エレックス
▽エーディテクノ▽オタ
リテック▽カナレ電気▽
キヤノンマーケティング
ジャパン▽クロスイメー
ジング▽クラスバレー▽
ケイテック▽コスミック
エンジニアリング▽三和
映材社▽シグマ▽昭特製
作所▽新協社▽J・B・
Sネットワーク▽ジャパ
ンマテリアル▽ストロベ
リーメディアアート▽ス
パイス▽IVS41(TO
WERLAB.)▽テ
クノハウス▽テレストリ
ームジャパン▽テレビア
ルファ▽銀座十字屋デ
ィリゲンツ事業部▽T o
o▽東京オフラインセン
ター▽TRIUMF 信
誠商事▽ナックイメー
ジング▽Niss
▽日本ラッド▽日本フォ
ームサービス▽はんぷ▽
パナソニック コネクト
▽ヒビノグラフィックス▽
ヴィンダム▽ビジュ
アル・グラフィックス▽
ビデオサービス▽ビデ
ートロン▽富士フイルムイ
メージングシステムズ▽
フジヤカメラ店▽ブラッ
クマジックデザイン▽プ
ロスパー電子▽日本ビデ
オシステム/RAID
(PROTECH)▽平

▽メイコー▽メディア
ラットフォーム▽ロボ
リサワ▽ヤマハ▽RAI
D▽ラムダシステムズ▽
ガンスイ▽リリーダー電
子▽レスター▽ローランド
【オーディオ関連機器】
▽アプロースシステム▽
アートボックスクリエ
イ▽ウエタックス▽オー
ディオテクニカ▽オーデ
ィオブレインズ▽岸無線
サウンド▽グラフィカ▽
スタジオイキュブメント
▽ゼンハイザー▽ジャ
ン▽タムラ製作所▽ティ
アック▽ディーアンド
ピー・m▽デジタル・ラ
ボラトリー▽日本音響
エンジニアリング▽日本
テックトラスト▽ノイ
トリック▽花岡無線電
機▽Power soft S. p. A
▽ヒビノ／ヒビノイン
ターサウンド▽ピーテ
ック▽BOSE PROFE
SSIONAL▽ミックス
スウェーブ▽モアソ
ンジャパン▽ヤマキ電
気▽ヤマハミュージック
ジャパン

【照明関連機器】
▽アガイ商事▽A. C.
ライティング・アジア▽

ce Bloom▽テクニコ▽東京舞台照明▽ヒビノライティンク▽富士ライト商事

【大学・専門学校】

▽愛和学園▽イーエスビー学園 専門学校ESPエンタテインメント福岡▽21世紀アカデメイア専門学校福岡▽ビジュアルアーツ・アカデミー▽福岡情報ITクリエーター専門学校

【その他】

▽水素ラボ▽soraプロシエクト

Catch Me

長く使われるには、理由がある

放送・番組制作の最前線で選ばれ続ける

送り返しイヤーモニター Catch Me

デジタルインカムが製品ラインナップに加わりました

出展します 九州メディア総合展 2026 2026年 7/15(水)・16(木)
福岡国際センター

2026年 7/15(水)・16(木)
福岡国際センター

展示予定品

- 1.9GHz DECT 方式 インカム Catch Me
- Catch Me 送り返しワイヤレスシステム
 - ・ RD-207 / RD212 / RD208 C 型 (322MHz) 送信機 / 受信機
 - ・ RD-209 シリーズ / RD-210 / D 型 (74MHz) 送信機 / 受信機

Catch Me
C 型 (322MHz 帯)

Incom Catch Me
1.9GHz DECT 方式

アプローズシステム株式会社

〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地 2-5-24
<http://www.catchme-ap.com/>

☎ 044-330-6782

九州メディア総合展

特集

出展概要

CALRECからは、ヒビノ／ヒビノインターサウンド「リモーターサウンド」の最新環境をはじめ、次世代の放送インフラを支えるソリューションを展示する。



TAINER/OFFLOADER 16X

放送用ミキシングコンソール「ARGOM」と、柔軟な遠隔制御を可能にする「True Control 12・0」を組み合わせた、最先端のリモータープロダクション環境を提案する。

DHD audioのオーディオコンソールは、優れた機動性と、運用の現場に合わせた柔軟なカスタマイズ性能を両立。高い信頼性でOTCミキサーとしても採用される、拡張自在な次世代AOPに対応している。

Shure放送用マイククロホンアレイ「DCA

900Lは、空間の意匠を損なわずに高精度な収



Bolero Mini

音を実現。1本のネットワークケーブルで8chの高品位な音声を伝送できる。

電波の安定性と高層・拡張性を兼ね備えたRIEDELワイヤレス・インカム「Bolero Mini」を披露する。

新製品を中心に多数のラインアップを展示

そのほか、業務用マルチメディア液晶ディスプレイ、SDI、USB Type-C入力、Dante対応製品、分配器、ケーブルなど幅広く展示する。



HDデジタルFPU装置「PF-900L」

池上通信機は「Ignis be flexible with『Chameleon』をテーマに、システム統合管理ソリューション「Ignis smc」と、昨年のINTERBE Eで新製品発表したメディア信号処理ソフトウェアプラットフォーム「Ignis smc」からなるトータルシステムソリューション「Ignis」を提案する。

さらに4月に新製品発表

エーディテクノ

エーディテクノの新製品「UHD MORT」シリーズは、HD 12G SDI信号を、光ファイバー1本で最長10kmまで低遅延かつ高品質に伝送可能で、用途に合わせた3製品をラインアップ。小型・軽量設計のため、

ディスプレー背面やラック内などの限られたスペースにも容易に設置でき、さまざまな映像伝送システムに対応する。

また、今注目のDante AV Ultraに対応したエンコーダー／デコーダー「DAVシリーズ」も展示する予定。従来のDanteと変わらない操作感を実現しつつ、Pro AV用途に特化した製品仕様となっており、1GbE環境で4K60の高精細な映像をロスレス伝送する。

システムの統合管理を提案

池上通信機

表した小型・軽量・低消費電力を実現したHDデジタルFPU装置「PF-900L」を展示。その他、各種伝送ソリューションも展示する。

「Avid Content Core」を、国内展示会で初披露する。

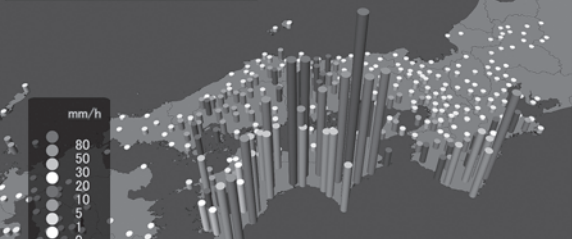
世代的プラットフォーム「Avid Content Core」を、国内展示会で初披露する。



緊急地震速報、防災情報、気象情報システムのリーディング・インテグレーター

	特別警報	危険警報	警報	注意報
中央区	大雨 レベル5	土砂 レベル3	強風	
港区	高潮 レベル4	大雨 レベル4	土砂 レベル4	波浪
品川区	暴風 レベル4	高潮 レベル2	大雨 レベル2	
大田区	高潮 レベル5	大雨 レベル2		

アメダス積算降水量



緊急地震速報（気象庁）
北海道道東で地震 強い揺れに警戒 北海道道央 北海道道南 北海道道北 北海道道東 青森
緊急地震速報（気象庁）
長野県で地震 強い揺れに警戒 群馬 滋賀 岐阜 静岡 愛知 三重 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野

ブース J-87

九州メディア総合展 2026

7・15 WED-16 THU 10:00 ~ 17:00

福岡国際センター
(福岡市博多区築港本町 2-2)

クロスイメージング株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-5-1 A-PLACE 五反田駅前 9F
TEL. 03-6417-9190(代表) FAX. 03-6417-9195<https://www.crossimaging.jp/>

コスミック エンジニアリング

コスミックエンジニアリングは、「コンパクト中継伝送ソリューション」をテーマに、既存技術の応用や新製品との融合による付加価値の高いトータルソリューションを披露する。

中継業務、スタジオ収録、送出監視など多様なワークフローで着々と実績を伸ばしているルーティングスイッチャー「gen」は標準機能である新バージョンを中心に実演展示する。



インターカムマトリクス・タリーインターフェイス ライブユニット「LU21」

中継伝送・スタジオ運用を効率化

昨夏のリリース以後、好評のインターカムマトリクス・タリーインターフェイスライブユニット「LU21」は、カメラを選ぶことなく最大8系統のカメラシステム用インターカムおよびタリー信号の接続ができた。国内有数の豊富なライヴアップを持つエンベデッドオーディオモニター「SPシリーズ」では、長年、放送業界各シーンで多くの導入実績と扱いやすさで好評のSPスタジオードモデル3機種（SP101N、SP102N、SP103N）

九州メディア総合展 特集 出展概要

青森で「動き出す浮世絵展」 浮世絵の世界を没入体験 300点超を立体映像で表現



動き出す浮世絵展

「動き出す浮世絵展 AOMORI」(主催：東奥日報社、青森放送、東奥日報文化財団)が7月11日～8月11日の期間、東奥日報新ビルNew'sホール(青森県青森市)において開催されている。同展は、葛飾北斎、歌川国芳、歌川広重、喜多川歌麿、東洲斎写楽、歌川国貞など世界的な浮世絵師の作品300点以上を、3DCGアニメーションやプロジェクションマッピングを駆使して大人から子どもまで楽しめる。青森限定の特別な展示空間を通じて、青森を描いた風景画やねぶたと浮世絵のつながりなど、【公式ウェブサイト】www.utoyoei-immersiveart.com/aomori

楽しめるグラフィカルなデジタルアート作品として表現し、立体映像空間で浮世絵の世界に没入できる体験型デジタルアートミュージアムである。初公開となる

JR上野駅で新広告メディア展開 地域文化表現する環境演出も

都市型サイネージの新提案

JR上野駅中央改札前のランドコンコースに、大型LEDビジョン「UENO CANVAS」が設置され、7月6日から広告運用を開始した。ジェイアール東日本企画(東京都渋谷区)が展開する新媒体で、JR東日本グループが進める「Beyond Stations構想」のモデル駅である上野駅において、駅を単なる移動拠点ではなく、「地域と人をつなぐ情報発信拠点」へと進化させる取り組みの一環となる。



JR上野駅中央改札前に設置された大型LEDビジョン「UENO CANVAS」。改札を出入りする利用者の正面に横長の映像面が広がる

同ビジョンの媒体サイズは幅23.0m×高さ3.2m、面積は約75平方メートル。LEDディスプレイのドットピッチは2.9mmで、横長の大きな中央改札前の空間に大きく広がる。放映時間は午前4時59分から午後11時59分まで。広告枠は「2分ロール」で、10分ごとに2分間のコンテンツを放映する。音声放送にも対応しており、毎正時には専用の音楽ホールなどへ向かう

来街者も多い。短い滞在時間の中でも、横長の映像面が情報と雰囲気を感じさせる構成になっている。名称の「CANVAS」には、広告主が自由に表現を描く場であると同時に、上野という地域の文化性を映し出す場という意味が込められている。同ビジョンでは広告に加え、街の施設、歴史、芸術文化を表現する環境演出も展開する。意図されており、LEDビジョン単体にとまらず、ランドコンコース全体を活用した立体的な広告展開も可能となる。大型LED、音声、時報、周辺装飾を組み合わせることで、駅空間を一つのメディア面として設計できる。交通広告は今までは、駅利用者の動線上で効率的に認知を獲得するメディアとして発展してきた。一方で近年は、駅そのものの価値や地域性をどう可視化するかも重要なテーマになっている。

ご利用いただいておりますか？

映像新聞デジタル版

1契約で最大5端末までのログインが可能

週刊「映像新聞」(紙媒体)の定期購読者は追加料金なしで「デジタル版」をご覧になれます。

(ご利用には弊社が発行した初期パスワードが必要になります)

お問い合わせは info@eizoshimbun.com まで

Draco Tera KVM シリーズ

日本国内放送局様で350システムを超える豊富な採用実績
圧倒的な安定性を誇る非IP-KVM

- 非IPの独自プロトコルにより、大型システムでもトラフィックに影響されない安定運用
- システムの冗長化やバックアップシステムの構築により、重篤なトラブルを回避
- APIを使った外部制御に対応
- スイッチに接続するだけでKVMエクステンダーを自動認識ネットワークの設定などは不要
- Draco Tera IP Gatewayにより、IP-KVMならではの柔軟性を兼ね備えたハイブリッドシステムを構築
- JPEG-XSを採用した圧縮技術により、240Hzなどのハイフレームレートにも対応



ihse.
KVM & Beyond



伊藤忠ケーブルシステム株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-14 高輪パークタワー TEL.03-6277-1824

IHSE製品の詳細は下記URLかQRコードよりご覧いただけます。
<https://ihse.jp>

